

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋高校美術・書道部展				開始年度	21年度		
基本目標	美術館の充実				終了年度	21年度		
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼		評価者	中野 恵一
21年度決算	0	千円	22年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	146 千円		22年度人件費	289 千円		事業従事者数	0.02 人	0.04 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。
事業の内容	高鍋高校美術部・書道部及び芸術選択生の作品展示

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	観覧者数	目標値	500	500	500
		実績値	422	537	
		達成率	84.4%	107.4%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	広報活動数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地元高校の芸術専攻生徒の成果発表の場となっている。情操教育に寄与し、将来的には入館や自主的な美術館使用に繋がっていくと思われる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	高鍋高校生と保護者の観覧がほとんどであるが、広報のさらなる充実を図り、一般の観覧者を増加させたい。観覧者数は前年度より2割強増加した。展示室のスペース的には厳しいが、高鍋農業高校との連携を模索したい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	多くの美術部員・書道部員が展示作業及び撤収を行うため、短時間の作業時間で済む。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	展示考案、展示作業、撤収まですべて高校生(美術部・書道部)が行っている。

事務事業名	高鍋高校美術・書道部展	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-------------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	年々来館者数が増えている事業である。 地元高校生の発表の場であり、生徒だけでなく親・祖父母の来館も多い。さらに充実した展覧会となるよう、高鍋農業高校との連携も視野に入れて今後も事業を進めていきたい。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充		
			コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎文化の発信基地として、しっかりとした事業を展開し、町民に親しまれる美術館運営を望む。 ◎少ない予算で企画するのは大変だろうが大切な事業である。
	コスト	現状維持	